

# 4次規制適合のディーゼル搭載

## 三井造船マシナリー・サービスが非常用を販売

三井造船マシナリー・サービス株式会社は、ドイツのエンジンメーカー、ドイツ (DEUTZ) 社が開発・製造している第4次排出ガス規制 (Tier4) に適合した2.9Lディーゼルエンジンを、日本国内で建設機械業界向けに販売している。

三井造船マシナリー・サービスでは、このほど、同2.9Lディーゼルエンジンを搭載した定格出力40kVA (60Hz時) の非常用発電設備「EGG (Emission Green Generator) 40-S」を開発し、販売を開始したと発表した。

今回販売を開始した第4次排出ガス規制 (Tier4) 適合の同2.9Lディーゼルエンジンを搭載した非常用発電設備「EGG」の主な特長は、以下のとおり。

- ①クリーン燃焼により、黒煙や白煙といった排気色を目視では視認することができないほど排気ガスが清浄。
- ②PM及びNO<sub>x</sub>の排出量を大幅に低減したクリーン燃焼により、燃料消費率も大幅に改善。
- ③DOC (酸化触媒) に消音マフラーとしての役割を持たせ、低騒音化を実現。
- ④燃料は、入手し易い軽油を使用し、195L大型燃料タンクの標準装備で、定格出力で18~20時間の長時間運転が可能。

これまで、非常用発電設備において苦情の多い点検始動時における黒煙発生・騒音、保守運転における黒煙・排気臭の環境問題が解決できると期待されている。

また、非常用発電設備「EGG」の主な仕様は、以下のとおり。

- ①使用燃料=軽油。
- ②制御方式=全自動方式 (自動始動-電源切替-自動停止)。
- ③始動時間=停電より電源切替まで10秒以内。
- ④騒音値 (機側1m平均値)=85dB (A)。
- ⑤サイズ=高さ1,550mm、横幅2,200mm、



非常用発電設備EGG40 S

奥行き850mm。質量1,500kg。

第4次排出ガス規制 (Tier4) に適合した同2.9Lディーゼルエンジンは、排出ガス後処理装置に関して、国内の各メーカーではDPF (排出ガスフィルター) とSCR (脱硝用触媒) を組み合わせたものを使用しているのに対して、DOC (酸化触媒) だけで第4次排出ガス規制 (Tier4) をクリアしているという。

このため、DPFがPM (すすなどの粒子状物質) のつまりによる性能の低下を起こしたり、尿素水の補給の手間や尿素水の凍結などによる不具合がないという。また、クリーンディーゼルエンジンとして、同2.9Lディーゼルエンジンを搭載した建設機械のユーザーの間でも高い評価を得ているという。

三井造船マシナリー・サービスでは、外形も可搬性を考慮して、コンパクトでスマートな形状とした。また、オプションとして、200V以外に100Vコンセントも準備しているという。

今後、多くの人が集まる道の駅・避難所・公民館・病院・学校・役場などに最適な仕様であるとして、これらの施設所有者あるいは施設管理者に対して積極的な営業活動を推進していくとしている。

問い合わせは、三井造船マシナリー・サービス株式会社営業部 (☎03-6806-1075) 木村、宮尾